

## ①のおはなし

それはそれは、昔の話。今から百四〇年もまえの話です。

ふぞくにいがた小学校の つき山の トンネルに、「フリージアン」というまほうつかいが おりました。「フリージアン」は、いつも冬になると、このつき山のトンネルにやってきて、雪に まほうを かけて、たくさんのたのしいものをつくっているのです。

月日はたって、二〇一五年のある冬の日、「フリージアン」が トンネルの中でまほうを けんきゅうしていると、きょうしつから 子どもたちが やってきました。それは、**三五人の一年生**でした。休みじかんになると、いつも「フリージアン」と いっしょに、いろいろなあそびをしにやってくるのです。

「ねえねえフリージアン、今日はなにしてあそぶ？」

「ねえねえフリージアン、まほうを見せてよ！」

すると、「フリージアン」がいました。

「そうだなあ。では、よく見ておくんだよ」

そう言うと、「フリージアン」は りょう手を たかく上げて、なにやら ふしぎなことばを つぶやきました。するとどうでしょう。目のまえの雪が カラフルになってきらきらひかり出しました！

「うわー。すごーい！」

みんな大よろこびびです。

すると、一人の子がぼつりと言いました。

「**いいなあ。わたしも まほうをつかってみたいなあ**」

すると、みんなも いいました。

「ぼくもぼくも！」 「わたしも！」

「フリージアン」は、少しかんがえて いましたが、しばらくするとこう言いました。

「それじゃあ、一かいだけ、きみたちをまほう使いにしてあげよう！」

「やったー！」

みんな大よろこびびです。

「ではきみたち。まずは、まほうつかいの

いしょうからだ。きみたちが **まほうつかいになったすがた**を、わたしに見せてくれ！」

そういうと、「フリージアン」はまほうつかいの いしょうと、**リベット**という、まほうのどうぐを子どもたちに あたえました。

## ②のお話

「おおー！ なかなかいいじゃないか！」

まほうつかいになった 三五人の子どもたちを見て、「フリージアン」はニコリ。そしてこう言いました。

「それじゃあいよいよ、まほうを おしえてあげよう。このまほうは、雪をカラフルにかえる とっておきのまほうだよ。やりかたはかんたん。この**マジカールドーシュ**に力を込めて 色をふりかけるのだ。ちなみに、これには、ふしぎな力がある。うまくいくと、『カラフル』というようせいが でてくるはずだ。ふだんはどうめいで見えないけれど、きれいな色のところにやっ

るようせいだよ。 さぁやってみよう」  
そう言うと、「フリージアン」はマジカルドーシュをとり出しました。  
そして、大きな大きなスノーペーパーという、雪でできたかみをひろげました。

③のおはなし

三五人の子どもたちは、じかんがたつのもわすれて、スノーペーパーに色をつけました。すると、「フリージアン」が言いました。

「もうきみたちは りっぱな まほうつかいだ。すばらしい！きみたちの まほうがかかったカラフルスノーペーパーでいっぱいだ。『カラフル』もたくさんいるだろう」

そして、カラフルスノーペーパーをゆびさして言いました。

「そうだ！せっかく出てきた『カラフル』と、いっしょにあそんでみよう。みんなでカラフルスノーペーパーをもってごらん。『カラフル』はね、音がくがすきなんだ。音がくがながれているあいだ、すきなようにあそんでみよう」

音がくがとまると、「フリージアン」もうきうきな気持ちで言いました。

「『カラフル』がよるこんでいる！とつてもたのしそうだ。おやおや、こんどは『カラフル』がみんなのところに行きたくてたまらないみたいだぞ。

そうだ！ではとっておきのまほうをおしえよう。これは『カラフル』にかたちをつくってあげるまほうだよ。

カラフルスノーペーパーのかたちをかえて、自分だけの『カラフル』をつくってみよう。さぁ、どんなふうにかたちかわるかな。」

④のおはなし

子どもたちの表した「カラフル」を見て、「フリージアン」は言いました。

「すばらしい。かんどうしたよ。これできみたちも、まほうパワーを手に入れることができたね。そこには、どんなものができたんだい？ぜひ しりたいな。そうだ、うらがわに かいて おしえてほしいな」

みんなが書きおえると「フリージアン」の体が ぼんやりと 光りはじめました。

「ああ！なんと言うことだ。もうおわかれしなきゃいけない。これから百四十年ごの みらいにいて、つき山のトンネルでまほうの けんきゅうを しなければならぬ。きみたちにも、またいつかあいたいね。それでは、さようなら！」

「フリージアン」の体が、さらにかがやきを ましたかとおもうと、もう、そこにはだれもいませんでした。まどのそとを見ると、まっ白い雪が たいよう光にあたって、にじいろに きらきらとかがやいていました。

(おしまい)